

<山手隧道工事写真>



<出典：横浜市「横浜の復興」>

大正13年3月11日に告示された「帝都復興都市計画」に街路第4号線として位置づけられ昭和3年10月に竣工した路線である。関内地区と本牧地区を結ぶ道路として幅員22～25m、延長447mが位置付けられている。現在は都市計画道路高島本牧線、山下本牧磯子線の一部となっている。街路第4号線にある山手隧道は、戦前の道路用トンネルとしては最大の幅員となっている。

～街路構造令に特化した各都市の事例～

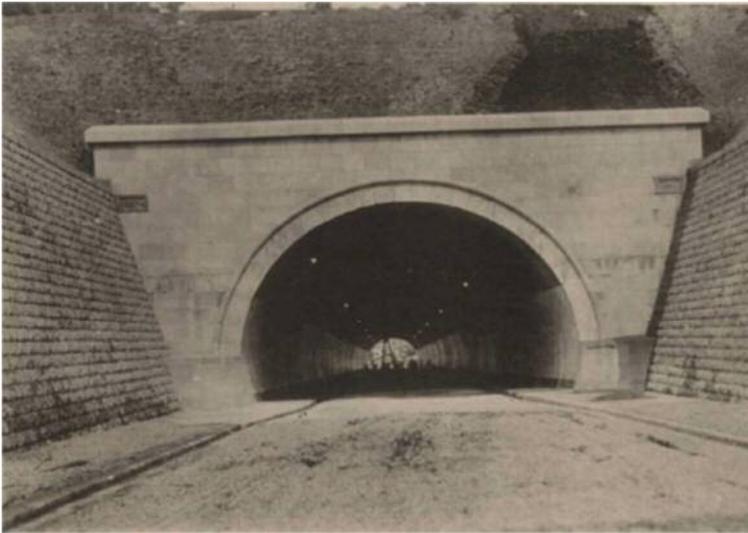
横浜市

たかしまほんもくせん やましたほんもくいそごせん
 (都) 高島本牧線、山下本牧磯子線
 (旧：街路第4号線)

諸元表

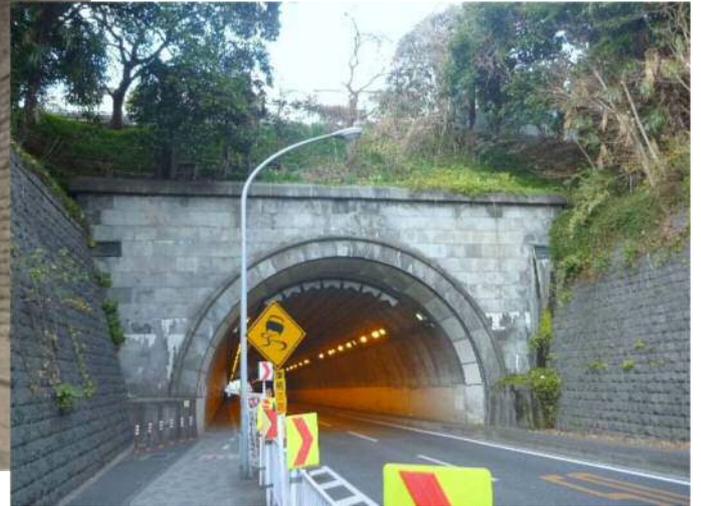
名称	(都) 高島本牧線、山下本牧磯子線	経緯	T13年 帝都復興都市計画決定 (全21路線)
延長	約9.4km (当初) 高島本牧線 約5.5km (現在) 山下本牧磯子線 約7.6km (現在)		S2年 山手隧道竣工
種級	広路 (当初計画) 4種2級 (現在)		S3年 街路第4号竣工 S27年 本牧根岸線に名称変更 S47年 路線の分割 (高島本牧線、山下本牧磯子線)
幅員	22～25m (当初計画) 25m (現在) 山手隧道付近の全体幅員に対する車道以外の幅員割合 >74% (現在)		H13年 山手隧道が市認定歴史的建造物に認定 H27年 土木学会推奨土木遺産に認定
街路樹	あり		

<竣工当時（昭和2年3月）の山手隧道>



<出典：横浜市「横濱の復興」>

<現在の山手隧道>



<出典：横浜市「横濱の復興」>



桜道橋と山手隧道

<出典：横浜市「横濱の復興」>

山手隧道は平成13年に横浜市認定歴史的建造物に認定された。
また、平成27年には山手隧道の本牧側に架かる桜道橋などとともに「元町・山手地区震災復興施設群」として土木学会の推奨土木遺産に認定された。



<出典：横浜市「横浜国際港都建設計画街路網図」>